

# 議会だより

Vol.  
**196**  
2018.10.19



9月の  
定例会

② 平成29年度決算  
総額331億円の成果を認定

⑭ 産業団地整備構想  
魅力ある産業団地の早急な整備を

⑩ ズバリ!! 町政を問う  
3議員が質問

⑳ 適正な議員定数を議論  
議員定数等に関する特別委員会

きれいなお魚がいっぱい / 富岡幼稚園遠足(アクアマリンふくしま)



# 平成29年度 決算

# 総額331 億円の成果を認定!

《一般会計 264億円 特別会計67億円 合計 331億円》



**【財務原則に基づく適正な予算要求と執行管理を求める】**  
**坂本代表監査委員の審査意見**  
 平成29年度決算は、過去最大の決算規模となった昨年度同様に330億円台の決算規模となっているが、総体的に概ね適切に事務処理が行われたと評価する。しかし、担当職員の財務に関する知識、経験不足に起因するミスが散見されたので、職員研修等で実務能力向上対策を講じるとともに、財務原則に基づく適正な予算要求と執行管理、財政規律の順守とチェック体制の強化を求める。



平成30年9月定例会は9月11日から13日まで3日間の会期で開催しました。  
 平成29年度一般会計及び特別会計の決算認定をはじめ、平成30年度の補正予算、条例の制定及び一部改正、工事請負契約案件、人事案件など、計31件の議案を慎重に審議し、全て原案のとおり可決しました。また、決算認定に伴う現地調査(保健センター・図書館)を行いました。  
 一般質問では3議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いいただきました。

### 【応急仮設住宅維持】



応急仮設住宅維持管理費  
(管理委託料、光熱水費等) 1億1200万円

### 【産業団地整備】



工業団地事業費  
(用地購入費等) 6億3782万円

### 【災害公営住宅新築】



公営住宅整備事業費  
(災害公営住宅購入費等) 29億2698万円

### 【第一中学校改修】



第一中学校施設整備事業費  
(施設改修工事費等) 7億3511万円

### 【高齢者サポート拠点運営】



高齢者サポート拠点整備事業費  
(運営管理委託料、賃借料等) 1億903万円

### 【敬老会開催】



敬老会事業費 437万円  
敬老祝金支給事業費 1582万円



### 【営農再開支援】



営農再開支援事業費  
(営農再開支援事業補助金等) 2億670万円

### 【富岡漁港整備】



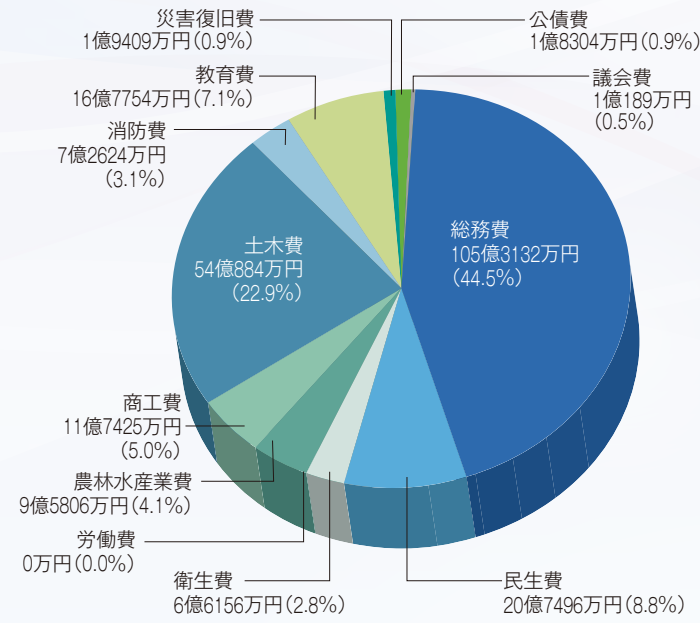
漁港災害復旧事業費  
(建築工事費等) 7525万円



## 歳出(支出)の主なもの

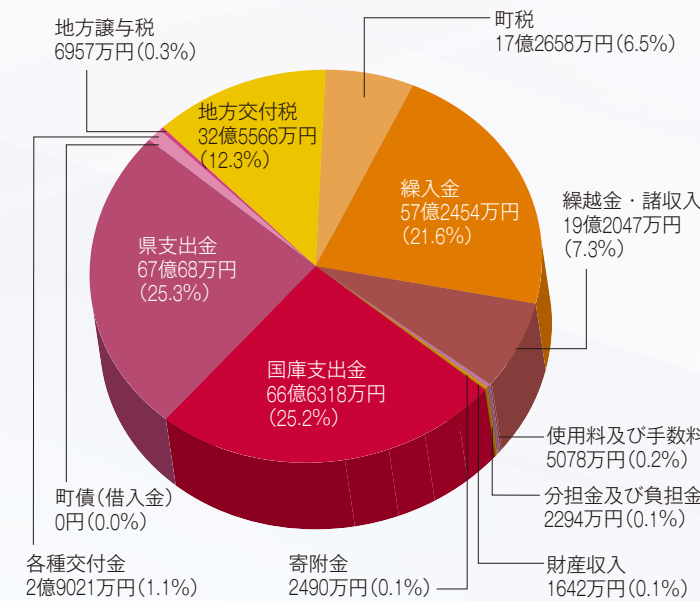
- **総務費** (一般的な管理に要する経費。徴税费や選挙費なども含まれる)  
..... 105億3132万円
- **民生費** (町民が一定水準の生活と安定した社会生活を送るために必要な経費)  
..... 20億7496万円
  - ・ 社会福祉費 ..... 13億7114万円
  - ・ 児童福祉費 ..... 2億8079万円
  - ・ 災害救助費 ..... 4億2303万円
- **衛生費** (町民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費)  
..... 6億6156万円
  - ・ 保健衛生費 ..... 5億2597万円
  - ・ 清掃費 ..... 1億2735万円
  - ・ 上水道費 ..... 824万円
- **農林水産業費** (農林水産業の振興に要する経費)  
..... 9億5806万円
  - ・ 農業費 ..... 9億4949万円
  - ・ 林業費 ..... 853万円
  - ・ 水産業費 ..... 4万円
- **商工費** (商工業の振興に要する経費)  
..... 11億7425万円

## 歳出(支出) 236億9184万円



- **土木費** (道路、公営住宅等の建設、維持管理に要する経費)  
..... 54億884万円
- **消防費** (防犯防火に要する経費)  
..... 7億2624万円
- **教育費** (教育に要する経費)  
..... 16億7754万円
- **公債費** (町の借金返済に要する経費)  
..... 1億8304万円

## 歳入(収入) 264億6603万円



- **地方譲与税** (国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金)  
..... 6957万円
- **地方消費税交付金** (国が徴収した消費税のうち、町分として国から交付されたお金)  
..... 2億6261万円
- **地方交付税** (税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部)  
..... 32億5566万円

## 歳入(収入)の主なもの

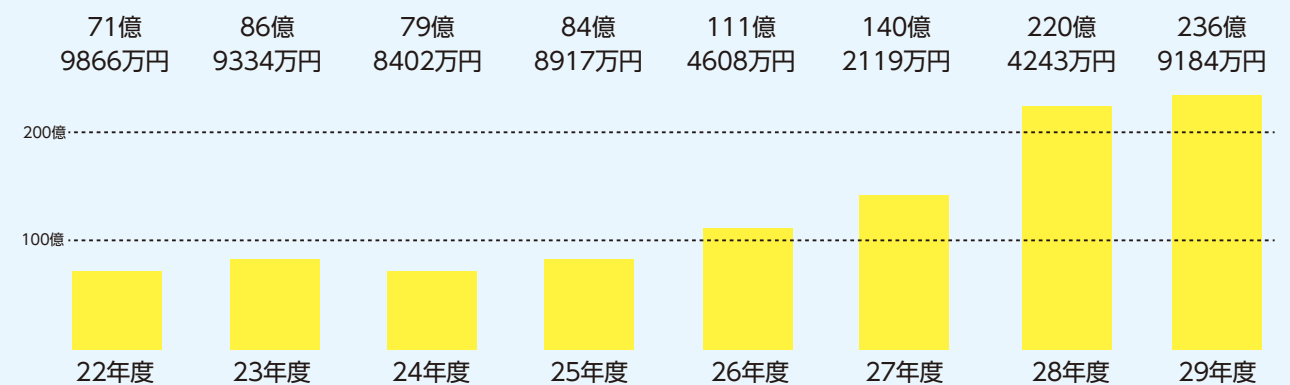
- **町税** (皆さんが町に納めた税金)  
..... 17億2658万円
  - ・ 町民税 ..... 5億9454万円
  - ・ 固定資産税 ..... 10億6174万円
  - ・ 軽自動車税 ..... 2048万円
  - ・ 町たばこ税 ..... 4982万円
- **繰入金** (収入の不足を補うために、基金(貯金)等から取り崩したお金)  
..... 57億2454万円
  - ・ 特別会計繰入金 ..... 1億6654万円
  - ・ 基金繰入金 ..... 55億5800万円
- **繰越金** (前年度から繰り越されたお金)  
..... 16億4595万円
- **諸収入** (雑入など、その他の収入)  
..... 2億7452万円
- **使用料及び手数料** (住民票や印鑑証明などの手数料収入)  
..... 5078万円
- **国庫・県支出金** (特定の目的のために国や県から交付されたお金)  
..... 133億6386万円
  - ・ 国庫支出金 ..... 66億6318万円
  - ・ 県支出金 ..... 67億68万円

### 【平成29年度一般会計及び特別会計決算を全会一致で承認】

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険事業	蛇谷須特環下水道事業	公共下水道事業	農業集落排水事業
歳入	264億6603万円	66億7669万円	37億4328万円	2129万円	6億39万円	2億8233万円
歳出	236億9184万円	59億230万円	32億3634万円	1725万円	5億6862万円	2億7977万円
前年度比	27億7419万円	7億7439万円	5億694万円	404万円	3177万円	256万円

会計区分	特別会計					合計
	曲田土地区画整理事業	介護保険事業	後期高齢者医療事業	仮設診療所事業	介護サービス事業	
歳入	2億9754万円	16億6739万円	4671万円	1016万円	760万円	331億4272万円
歳出	1億6783万円	15億6889万円	4611万円	1016万円	733万円	295億9414万円
前年度比	1億2971万円	9850万円	60万円	0	27万円	35億4858万円

### 【震災前の平成22年度から平成29年度までの一般会計歳出決算の推移】



震災前の当町は、予算規模70億程度で推移していた。震災後、復旧・復興事業や広域的な支援事業等で、予算規模は3倍以上に膨らんでいる。

# 一般会計 補正予算

## 第一つつじ橋補修工事費等を計上

### 《52億9810万円を増額補正》

道路橋梁管理費(第一つつじ橋補修工事)等の計上により、52億9810万円の増額補正を行い、総額214億721万円となりました。

補正のあった主な事業は下表のとおりです。

事業名	補正予算額
道路橋梁管理費(第一つつじ橋補修工事費)	6000万円増
農地等維持修繕事業費(農道、水路の維持修繕工事費)	3030万円増
照明灯管理事業費(不点灯照明の交換工事費)	1億3000万円減
教育施設整備事業費(第二小学校体育館設計委託料)	324万円増
公園維持管理費(岡内公園遊具費)	270万円増
福島再生加速化交付金基金積立金	54億9022万円増
その他(広報発行事業費、道路新設改良事業費など)	1億5836万円増

# 決算質疑

議員が切り込む!!

## 質疑応答



**問** 空き地・空き家バンクについて、インターネットで不動産情報を取得できたり、町内でも不動産業者が営業を開始したりしている。来年度以降も同事業を継続していくのか。(早川恒久)

**答** 企画課長  
避難指示が解除されてから1年数か月が経過し、町内の不動産取引も活発になってきたと感じます。本事業の住宅診断を受けられるというメリットをPRしながら、来年度は事業を継続し、状況を見て、今後の事業継続の有無を判断したいと考えています。

**問** 防災集団移転事業は完了と考えてよいのか。(遠藤一善)

**答** 拠点整備課長  
防災集団移転事業は、今年度末をもって事業完了となる見込みです。

**問** 商業施設の土地賃借料はいつまで負担するのか。(安藤正純)

**答** 産業振興課長  
商業施設駐車場用地については売買交渉をしているものの、価格等が折り合わず、賃借契約を結んでいる状態です。

**問** 今後、長期間土地の賃借料が発生する場合には、入居するテナントにも負担を求めるべきでは。(安藤正純)

**答** 産業振興課長  
現在のところ、テナント料は3年間免除、それ以降は経営状況に基づいて見直しという取り決めであり、この中には駐車場料金は含まれていません。今後、全体の収支バランスを考えて精査します。

**答** 町長  
今後も駐車場用地を賃借ではなく、取得できるように、交渉していきます。

## 現地視察 富岡町保健センター・学びの森図書館 現状を確認



平成30年9月12日、決算認定に伴う現地調査を実施しました。調査実施箇所は、富岡町保健センターと学びの森図書館です。



保健センター



図書館

### 【富岡町保健センター機能回復工事】

- 工期：平成29年8月24日～平成30年3月16日
- 工事費：1億9574万1360円
- 工事請負者：(株)倉伸
- 工事の概要  
外壁・屋根・鋼製扉の修繕、照明の全室LED化、空調エアコンの更新、調理実習室のガス器機取替など

### 【平成30年4月1日 再開館】

○利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	累計
入館者数(人)	1,693	1,168	1,488	1,361	1,765	7,475
貸出人数(人)	267	230	278	234	277	1,286
貸出冊数(冊)	706	643	789	736	940	3,814

議員が切り込む!!  
質疑応答

**問** 農地等維持修繕事業費の補正概要は。(遠藤一善)

**答** 産業振興課長  
農道や水路等、13か所の維持修繕工事です。放置すれば被害が拡大する可能性のある農道や水路、営農再開農地にかかる農道や水路等を選定して、維持修繕工事を行います。

**問** 照明灯管理事業費の減額理由は。(安藤正純)

**答** 復旧課長  
当初は本年度、特定復興再生拠点全ての不点灯照明を交換する予定でした。しかし、除

**問** 道路橋梁管理費の増額理由は。(遠藤一善)

**答** 復旧課長  
第一つつじ橋及び隣の水路橋の補修工事を行います。来年度5月にJRの通電が実施されることから、通電前に補修工事を行うため、今回補正予算として計上しました。

**問** 教育費の施設整備事業費の増額理由は。(高橋実)

**答** 教育総務課長  
第二小学校体育館の機能回復のための設計費を計上しました。

**問** 第二小学校体育館の使用目的は。(高橋実)

**答** 教育総務課長  
現時点では、学校施設としての利用は考えていません。夜の森地区の避難所としての利用、または町民に一般開放できればと考えています。数ある体育館の中でも一番新しい建物であり、被害も比較的少なかったことから、今修繕すれば劣化も防げると考えます。





鈴木文子さん(本町行政区)

**教育委員として適任である**  
鈴木文子さん  
富岡町教育委員会委員の任期満了に伴い、鈴木文子氏を再任する議案が提出され、適任であると決議しました。  
任期は平成34年9月30日までの4年間です。  
(9月定例会 全会一致 原案可決)

**農業委員として適任である**  
深谷昇さん  
富岡町農業委員会委員として、深谷昇さんが適任であると決議しました。  
任期は平成33年7月7日までの3年間です。  
(9月定例会 全会一致 原案可決)

**固定資産評価審査委員として適任である**  
大畑孝さん  
富岡町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、新たに大畑孝さんを適任であると決議しました。  
任期は平成33年9月30日までの3年間です。  
(9月定例会 全会一致 原案可決)

**公共施設整備基金条例を定める**  
富岡町公共施設整備に必要な経費を基金積立することを定めた条例について、可決しました。  
(9月定例会 全会一致 原案可決)

**富岡漁港施設の利用料金等を定める**  
水産業の振興と漁業者の経営安定を図るため、水産業共同利用施設の設置等を定めた条例について、可決しました。  
(9月定例会 全会一致 原案可決)

**スポーツ交流館(旧文化センター)を削除**  
富岡町社会体育施設条例に定めるスポーツ交流館の解体完了に伴い、本条例からスポーツ交流館を削除することについて、可決しました。  
(9月定例会 賛成多数 原案可決)

**公共施設維持基金条例を廃止**  
富岡町公共施設維持基金の全部を処分し、所期の目的を達したことによる本条例の廃止について、可決しました。  
(9月定例会 全会一致 原案可決)

### 人事案件

### 条例制定

### 条例改正

富岡町農業委員会委員として、深谷昇さんが適任であると決議しました。  
任期は平成33年7月7日までの3年間です。  
(9月定例会 全会一致 原案可決)



富岡漁港水産業共同施設

#### 【西日本豪雨災害の被災地に義援金を送付】

富岡町議会では各議員からお見舞い金をお預かりし、西日本豪雨災害の被災地に、義援金として30万円を7月31日付けで送付いたしました。  
今回の災害が広範囲にわたることから、東日本大震災及び原発事故による避難時に厚い支援をいただいていた「岡山県・岐阜県・京都府・山口県・福岡県・福岡県久留米市」に、各5万円をお送りしました。  
被害に遭われた皆様にお役立ていただくことを望むとともに、1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

#### 【富岡駅前道路を整備】

曲田都市計画街路3号線外整備工事の請負契約について、可決しました。  
(9月定例会 全会一致・原案可決)

#### 【工事請負契約の概要】

- 名称 曲田都市計画街路3号線外整備工事
- 工事の場所 大字仏浜地内
- 工期 平成31年3月22日まで
- 契約金額 1億692万円
- 契約相手方 富岡町大字本岡字王塚332-3 (株)高葉建設



曲田都市計画街路3号線(イメージ)

#### 【ふれあいドームを改修】

ふれあいドーム災害復旧工事の請負契約について、可決しました。  
(7月臨時会 全会一致・原案可決)

#### 【工事請負契約の概要】

- 名称 富岡ふれあいドーム災害復旧工事
- 工期 平成31年3月15日まで
- 契約金額 1億6578万円
- 契約相手方 富岡町大字上手岡字下千里220 桂建設(株)



ふれあいドームの現況

#### 【小型ポンプ積載車を取得】

災害時等物資搬送併用型小型動力ポンプ積載車の取得について、可決しました。  
(7月臨時会 全会一致・原案可決)

#### 【取得契約の概要】

- 取得する動産 災害時等物資搬送併用型小型動力ポンプ積載車
- 取得金額 1423万4400円
- 契約相手方 いわき市内郷綴町金谷15-4 東部産業(株) 自動車部



取得する小型ポンプ積載車(イメージ)

#### 【ため池放射性物質対策工事の変更契約】

ため池の放射性物質対策工事の変更契約について、可決しました。  
(9月定例会 全会一致・原案可決)

#### 【工事変更契約の概要】

- 変更理由 ため池の機能保全及び農地への放射性物質拡散防止に必要な工種の変更
- 契約金額 《変更前》7754万4000円 《変更後》8374万4280円 (契約相手方：桂建設(株))



榎屋第一ため池

### 工事契約

### 工事変更契約

### 動産取得

こんなことが決まりました。





早川 恒久 議員

# 問 介護に関する施策を具体的に示せ

## 答 12月を目途に町の方針を示す

**問** 避難解除から1年半が経過した今、町に帰還した町民は高齢者が多く、老後について不安を抱いている。町では、今後の入所施設を含めた介護に関する施策を具体的に示していないが、どのように考えているのか。

**答** 町長 従前の形態に加え、柔軟な視点から早期実現に向け検討を進め、本年12月を目途に町の方針を示したいと考えます。



東風荘(郡山市)の閉鎖時期は未定

**問** 介護施設は公設民営等の運営方法がある。しかし、不採算では事業が成立しないので、町から具体的な支援策の提案はしているのか。

**答** 町長 国、県の補助以外は町が負担する考えを持っていきますが、人員確保という大きな問題があります。国でも人員に対する支援事業がありますので、これらを検討しながら、

**問** 人材確保の観点から、国では外国人労働者を積極的に受け入れていくと発表している。町でも積極的に外国人労働者の受け入れ態勢を整える必要があると思うが、町の考えは。

**答** 健康福祉課長 まだ具体的な検討は進んでいません。今後の支援策を示していきたいと考えます。

**問** 現在、郡山市で養護老人ホーム東風荘を運営しているが、閉鎖時期はいつ頃と考えているのか。

**答** 町長 国から補助金を受けて設置し

**問** 現在の委託事業は来春4月に町内に戻ると聞いている。町も町内での施設再開に向けて、懸命に取り組んでほしいが。

**答** 町長 今後の事業の委託先については透明性、公正性を基本に、地域の実情やこれまでの実績などを総合的に判断し、事業者を選定する考えです。

**問** 法人独自の事業について方向性を随時確認しながら、町の考え方もしっかり伝えたいと考えています。

**答** 健康福祉課長 法人独自の事業について方向性を随時確認しながら、町の考え方もしっかり伝えたいと考えています。

**問** 総合的に判断し事業者を選定

**問** 今後の介護事業の委託先は

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に問題点をだし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。

# ズバリ!! 町政を問う

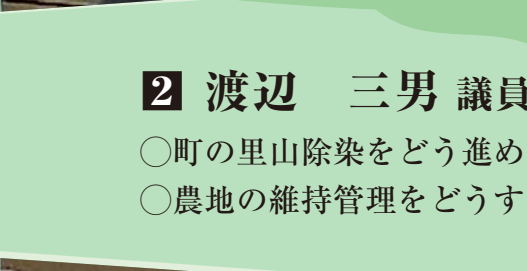
## 3議員が質問

9月定例会の一般質問に3議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。



### 1 早川 恒久 議員 ..... 11

- 介護に関する施策を具体的に示せ
- 今後の介護事業の委託先は



### 2 渡辺 三男 議員 ..... 12

- 町の里山除染をどう進めるのか
- 農地の維持管理をどうするか



### 3 遠藤 一善 議員 ..... 13

- 奨学金返済支援制度の創設を
- 拠点区域と並行した整備促進を



動画配信中!



※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。







遠藤 一善 議員

# 問 奨学金返済支援制度の創設を

## 答 町内就労支援の一つとして検討

**問** 町長 町内での労働力不足は深刻な状況にあり、奨学金返済支援は、若者を地元と呼び込み、地域活性化を図る上で一つの方法であると考えます。町も制度への理解を深め、全体の就労支援の一つとし

**問** 現在町内で事業を再開したり、新規で始めた事業者は、従業員がなかなか確保できないことに苦慮しています。そこで、町内就労の支援策の一つとして、日本学生支援機構等の奨学金返済支援制度を創設すべきでは

**答** 町長 町内での労働力不足は深刻な状況にあり、奨学金返済支援は、若者を地元と呼び込み、地域活性化を図る上で一つの方法であると考えます。町も制度への理解を深め、全体の就労支援の一つとし

**問** 奨学金の返済途中からでも利用できるようにすべきでは

**答** 教育総務課長

現段階では、新卒に限らず利用出来るような制度の創設を考えています。

**問** 産業振興課長

庁内での調整を進め、先行導入している他自治体からもアドバイスをいただきながら、なるべく早く取り組みたいと考えます。

**問** 来年度に間に合うように制度創設を考

て検討します。

**答** 町長

現状では、国や県の支援制度の利用を橋渡しすることで、一定程度の事業者支援を行っていますが、考えています。現行制度で光が当たらない部分については制度の検討を進めていきます。

**問** チャレンジショップのような形で、新規に事業を始める企業への支援策を創設し、町内事業者の進出を進めるべきでは

**答** 町長

現状では、国や県の支援制度の利用を橋渡しすることで、一定程度の事業者支援を行っていますが、考えています。現行制度で光が当たらない部分については制度の検討を進めていきます。



先行除染が始まった拠点区域 (夜の森駅周辺)

**問** 特定復興再生拠点区域の除染が開始され、避難指示解除に向け、除染と並行した具体的な整備を進めるべきと考え

**答** 町長

特定復興再生計画において避難指示解除目標を平成35年春ごろとし、

## 問 拠点区域と並行した整備促進を

### 答 検討を深める

除染及びインフラ整備を大前提に計画に掲げた復旧事業などを具体化すべく、関係機関との協議、検討を深めています。

**問** 観光資源の桜について、新たな桜並木をつくる検討はしているか。

**答** 企画課長

桜並木を生かした地域づくりについて、町として検討を始めるところです。

# 問 町の里山除染をどう進めるのか

## 答 除染エリアの拡大を国に求める



渡辺 三男 議員

**問** 里山再生モデル事業の進捗状況は。

**答** 町長 里山再生モデル事業の対象となったグリーンフィールド富岡周辺の森林除染は、周辺遊歩道も含め、おおむね完了しています。

**問** 町全体の里山の除染は、どう進めるのか。

**答** 町長 現在町内で実施されている里山再生モデル事業のエリア拡大と、継続的



里山再生モデル事業対象エリア (グリーンフィールド富岡周辺)

**問** 里山再生モデル事業対象エリアも含めて、里山はまだまだ線量が高い所がある。里山の線量をどのように低減させるのか。

な事業の実施を国に押し強く要望していきます。

**答** 復興推進課長 町民が立ち入ると思われる里山は、積極的に除染を進めるよう国に働きかけます。

**問** 平成31年度までは農地の維持管理として補助金が支給されるが、その後はどうするのか。

**答** 町長 農地の荒廃抑制や農業振興のため、所有者である農家の皆さんに対し、太陽光発電などの基金を活用し、営農意欲を高めるための支援を行います。

農家の皆さまの農地の保全管理や営農再開を促しながら、集団的な営農組合や営農法人などの組織づくりを支援し、農業の再開に取り組みます。

**問** 将来的に、基盤整備をして大型化するのも一つの方法だと思いが、町の考えは。

**答** 町長 農地の基盤整備には国の交付金が活用できませんが、そのためには作付から販売までの営農経営計画を作成し、国の承認を得る必要があります。

町は継続して農業従事者に営農再開への意欲を促すための座談会などを開催するとともに、町農業委員及び農地利用最適化推進委員を中心とした地域での農業担い手の確保や農地集約に対し、連携して取り組みます。



### 【企業誘致に向けた取り組み】

- 企業誘致促進・産業団地のPR
  - ・アンケート調査、パンフレットの作成、企業フェア出展(他自治体と共同)
  - ・企業ニーズ調査、誘致ターゲットの設定、優遇制度等の施策検討(町単独)
- 企業訪問
  - ・四倉工業団地仮施設事業者ヒアリング
  - ・来庁した企業への説明、企業への訪問説明
- 賃料及び支援策の検討
  - ・産業団地用地の売買及び無償貸与はできず「賃貸」(整備に国費を充当しているため)
  - ・賃料は年間1㎡あたり100円~200円で設定を検討
  - ・補助金の活用や税制優遇制度を周知



交差点には右折レーンを設置  
(県道側から撮影)

### 【事業概要】

「産業団地及び交流拠点の整備構想」の実現に向け、**安定的な雇用を創出するための産業団地、住民と町とのコミュニティを深める交流公園の整備を進める。**

- 事業期間 : 平成28年度~平成32年度
- 予定面積 : 約34ha  
(工場用地21.6ha、公園3.7ha、その他公共用地8.7ha)
- 総事業費 : 約87億円

## 議員が切り込む!! 質疑応答

**問** 赤枠の先行造成範囲は町内事業者のみで区画か。  
(早川恒久)

### 答 復旧課

先行造成範囲は、町内事業者に限定了した供用区画ではありません。

### 答 企画課

供用区画に進出を希望する企業が競合した場合には、町内事業者を優先するよう配慮します。

**問** 町内事業者に対して賃料の減免は考えているか。(早川恒久)

### 答 企画課

賃料の減免は行わず、すべての区画で均一の賃料にしたいと考えています。

今回先行して造成する範囲は幹線道路に近い区画であり、その区画を町内事業者に優先して供用することで、実質的な優遇になると考えます。

**問** 産業団地に進出する企業が、10年間土地を賃借すれば払い下げるというような交渉を国とできないか。  
(安藤正純)

### 答 企画課

現時点では、産業団地整備に国費を充当していることから、法律上、国と当該土地の売買の議論はできない状況です。

今後、支払った賃料を最終的な土地の売買価格に反映できるかどうか研究を重ね、結果をお示ししたいと考えます。

**問** 土地が賃借では企業は進出しづらい。ヒアリングした事業者の感触は。(渡辺三男)

### 答 復旧課

補助率が3/4なので、土地が賃借契約でも進出したという企業はあると考えます。

**問** 先行して造成する区画は、町内事業者へのヒアリングを考慮した大きさの区画か。  
(遠藤一善)

### 答 復旧課

先行造成範囲の区画は、町内事業者への配慮から、進出しやすい小さめの区画を用意しています。また、今後いろいろな相談を受けながら、変更が可能なタイミングであれば要望に沿った区画変更をしていきたいと考えています。

**問** 6号国道と県道がぶつかる交差点を広くするべきでは。  
(堀本典明)

### 答 復旧課

当該交差点は4方向に右折レーンを設ける改良工事を行います。

**問** 右折レーンの改良工事は、平成32年の一部供用開始までに完了する予定か。  
(堀本典明)

### 答 復旧課

現時点では道路改良工事の完了時期は不透明な状態です。今後、国・県との協議の中で、産業団地の一部供用開始に合わせた工事の完了を求めていきます。



※常任委員会とは①

本会議前に議案などを事前に審査したり、各課の事務の執行状況などを調査する場です。

### ＜町営住宅の解体＞

**Q** 町営住宅の解体手続きが進まない原因は。

**A** 室内の動産放棄承諾書を入居者からもらえないところがあり、解体手続きが進められない状態です。

**Q** 退去が進まない状態が長期間続いている。もっと強い対応が必要では。

**A** 電話連絡や臨戸訪問では効果がない状態が続いていることは認識しています。今後、反応がない入居者には内容証明郵便を送るなど、厳しく対処していきます。【総務課】

### ＜町民の帰還意向＞

**Q** 郡山市やいわき市の地域包括センターが対応している町民で、富岡町に戻りたいと考えている方はいるか。

**A** ふるさとに帰りたいと望んでいる町民もいますが、現時点では当町で受けられる福祉サービスが限定的ですので、なかなか戻れないという意見を聞いています。

【健康福祉課】

### ＜大原本店旧店舗の改修＞

**Q** 文化財に指定された大原本店旧店舗は被害が大きく、保存するのは難しいのでは。

**A** 建具等をできる限りそのまま使用し、復元する保存建築の方法をとりたいと考えます。

**Q** 建物の安全性は確保できるのか。

**A** 県から行政指導を受けながら、安全面には十分に考慮したいと考えます。なお、改修工事は平成31年度に実施する予定です。【教育総務課】



震災前の大原本店



大原本店の現況

### ＜町内への企業誘致＞

**Q** 富岡駅前について、新たな事業者が参入できる環境づくりも必要では。

**A** 町内事業者に配慮しつつ、外部に向けた情報も広く発信し、新たな事業者が参入できる環境も整えたいと考えます。【企画課】

### ＜税徴収嘱託員の設置＞

**Q** 震災前のように税の徴収嘱託員が必要では。

**A** 税の徴収強化として、現在は期間を決めて、税務課の職員が滞納者への臨戸訪問を行っています。今後、震災前と同様の課税がなされた際には、徴収嘱託員の設置も検討したいと考えます。【税務課】

### ＜仮設住宅の入居状況＞

**Q** いわき市及び郡山市等の仮設住宅の入居状況は。

**A** いわき市49戸、郡山市54戸、大玉村8戸の合計111戸です。

**Q** 仮設住宅の入居期間終了について、帰還困難区域を抱える当町においても大熊町や双葉町と格差のない対応を要望してほしいが。

**A** 商業施設や医療施設など、町内環境の整備の違いにより、大熊町や双葉町とは仮設住宅の入居期間終了時期に差ができてしまいました。今後は、仮設住宅にお住まいの方、一人ひとりのご事情をお伺いし、スムーズな生活再建につなげられるように尽力します。【住民課】



- 議会事務局
- 出納室
- 教育総務課
- 健康福祉課
- 住民課
- 税務課
- 企画課
- 総務課
- 所管課



※常任委員会とは②  
全議員が必ずどちらかの常任委員会に所属します。  
行政視察や事業の現地視察も実施します。

### << 6号国道の整備 >>

- Q 町内の国道6号線の痛みがひどい。国に補修を求めては。
- A 痛みがひどい箇所の写真を撮影し、場所を特定した上で、国に補修工事を実施するよう強く要望します。 【復旧課】

### << 森林整備の方針 >>

- Q 町内の森林整備計画の概要は。
- A 町内の民有林全てを対象とし、来年度以降年度ごとに10～20haほどを順次整備する計画です。
- Q 森林整備を行った際に出る間伐材の処理方法は。
- A 間伐材、除伐した際の木材は、ベクレル値を測定し、基準値以下であれば市場に出荷したいと考えています。 【産業振興課】

### << ごみ集積所の整備と回収 >>

- Q 町内のごみ集積所の見直しは。
- A 現在のところ、ごみ集積所は震災前と同じところに設置しています。今後、町民の帰還状況等も考慮しながら、行政区の方々と相談して設置場所を検討していきたいと考えます。
- Q アパート等で独自に設置しているごみ集積所も回収してもらえるように、広域圏組合に働きかけては。
- A ごみの回収ルートにのせてもらえるよう広域圏組合と協議します。 【生活環境課】

### << 甲状腺検査の結果 >>

- Q これまでの町民の甲状腺検査の結果は。
- A 当課に再検査が必要との検査結果の報告はありません。また、これまで町民から甲状腺がんの報告もありません。 【復興推進課】

### << 道路の除草 >>

- Q 交差点や見通しが悪い道路脇の除草をしっかりとやってほしいが。
- A 町内パトロールで現況を確認し、除草を行います。また、見通しが悪い道路は地権者に連絡を取り、木の枝の刈り払いを行うなど、安全な交通環境の整備に努めます。 【復旧課】

### << ため池の放射線量 >>

- Q ため池の放射性物質対策工事により、放射線量はどの程度減衰したか。
- A 工事が完了した宮の前ため池では、施工前15,000ベクレルあったものが施工後は100ベクレル程度まで減衰しているという結果が出ています。 【産業振興課】

### << おだがいさまセンターの今後 >>

- Q おたがいさまセンターの終了時期は。
- A 現時点では終了時期は決まっていません。しかし、これまで「おだがいさまセンターは仮設住宅があるかぎり続ける」と言ってきました。今後、仮設住宅の終了時期に合わせて、おだがいさまセンターの終了時期についても検討しなければならないと考えます。 【郡山支所】



おだがいさまセンター



様々なイベントに利用



- 〇郡山支所
- 〇いわき支所
- 〇生活環境課
- 〇産業振興課
- 〇農業委員会
- 〇拠点整備課
- 〇復興推進課
- 〇復旧課
- 〇所管課



## 要望① 設置する設備の最終確認 は東京電力がすべき

### 【3号機燃料取扱設備に不具合が発生】

- クレーンで主巻の巻下げ停止操作中、制御盤コンテナから異音が発生し、クレーン停止。  
《原因》 電圧の設定に誤りがあった。
- クレーンで資機材運搬中、制御系の異常を示す警報が発生し、クレーン停止。  
《原因》 吊り上げた資機材が定格荷重を超過していた。



遠藤一善議員

設備を取り扱うメーカーまかせではなく、設置する設備の最終確認は東京電力が自ら責任を持って行うべきでは。

実際に使用する環境と違う電圧に設定されていたことを見抜けずに、設備が福島第一原発まで来てしまった根本的な原因を突き詰め、再発防止に向け、対処していきたいと考えます。



東京電力株

## 要望② タンク内の汚染物質を再度取り除くべき



東京電力株

汚染水が入ったタンク内にトリチウム以外の汚染物質が入っているとの報道があった。多核種除去装置アルプスにトリチウム以外の汚染物質を取り除く能力があるならば、タンク内の汚染物質を再度取り除く作業をすべきでは。

アルプスでもトリチウム以外の汚染物質を完全にゼロにすることはできませんが、今後決められた処分方法に従い、汚染物質をできる限り取り去っていくという考えです。



安藤正純議員

## 要望③ トリチウムの処分方法は地元住民の意見も聞いて判断すべき



高野匠美議員

トリチウムの処分方法を国まかせにするのではなく、地元住民の意見を聞き、きちんと説明責任を果たす必要があるのでは。

トリチウムの処分方法については「国がしっかりと議論する」ということになっていますので、国の承認委員会の結果を受けて対応すべきだと考えています。それを受けて、地元住民の方にしっかりと説明するのは廃炉を進めていく当社の責任であると考えています。



東京電力株

## 適正な議員定数を議論



平成30年7月20日、議会議員定数等に関する特別委員会を開催し、適正な議員定数について議論しました。

第1回目となる今回の委員会では、各議員から現時点での議員定数についての意見を聞きました。

### 黒澤英男委員長・高野泰副委員長

取りまとめ役として、皆さんの意見を聞きながら定数や報酬額等を慎重に決めていきたい。

### 渡辺正道委員

本委員会は議員定数減を前提としたものではなく、様々な要件を考慮した上で、減なのか、増なのか、現状維持なのか議論していきたい。

### 高野匠美委員

町民から町議の人数が多いと言われる。議員として町民の目に見える活動をすべきだと考える。今のところ、議員定数を減らす、増やすという考えはない。

### 渡辺高一委員

現時点で議員定数に関する個人的な意見は持っていない。

### 早川恒久委員

議員定数の増はありえないと思っている。減か現状維持か。定数を減らした分、議員報酬を上げて、若い世代が専業でできるような形になれば、議会も活性化するのではないか。

### 遠藤一善委員

現在の帰還者数で議員定数を考えるべきではない。避難指示を解除する際に町が想定した人口4000人に、特定復興再生拠点区域の1600人を加えた人口に見合った議員定数にしていくべきだと考える。

### 塚野芳美委員

議員の定数及び報酬額については、今後の皆さんとの議論の中で適正な数字を決めていきたい。

### 安藤正純委員

議員定数について論じる前に、富岡町の議員である以上、富岡町に住んでがんばってくれる人が議員になるべきだと思っている。それが定数に満たなければ、町民総会も考えていかなければならないと思う。

### 宇佐神幸一委員

今後の町内帰還者数を想定して、実際の人口に応じた適正な議員定数を議論していくべきだと考える。

### 渡辺英博委員

定数減が妥当だと思うが、今後の議論の中で適正な議員定数を決めていきたい。

### 堀本典明委員

町内帰還者数を考えると、議員14名というのは多いと感じる。しかし、現状ではまだ13,000人の方が当町に住民登録をしている中で、一概に議員定数を減らすことが良いことなのか、迷いもある。今後、議論して方向性を決めていきたい。

### 高橋実委員

「議員定数を減らせ」という町民の声があることは理解しているし、議員としてその声に耳を傾けることは大事。ただ、町内に居住していなくても住民登録している以上は富岡町民。県内外に多くの町民が避難している現状を考えれば、今の定数14名でも良いと思っている。

### 渡辺三男委員

将来的には定数を半分にして、報酬を増やすべきだと考える。しかし、復興過渡期である今は議員の数を減らすべきではない。



# ちよととと

## みなさまの声

農業委員会会長に遠藤則政さんが就任されました。

### Q. 震災後の富岡町の農業の原状について、どう感じていますか。

A. 震災後の農業については、現在4ヶ所で米の作付けをしていますが、地元に着して対応している所は1ヶ所のみ状況です。また、他に玉ねぎ等で農業を再開している方もいます。営農を再開している方の多くが通い農業のため、従事者の健康面が懸念されます。同時に、富岡町に限らず、帰還している人の大半は高齢者であるため、震災前の姿に復興するには非常に難しい問題が生じています。  
農地が減少していますが、利用しないことには荒れてしまうので、農地の有効利用を促すためにも自然エネルギーやアパート建設等を考慮することも大切かと思えます。



遠藤則政 農業委員会会長  
田村市都路町出身

#### 【略歴】

- 昭和45年 三菱重工横浜造船所入社
- 昭和51年 三菱重工横浜造船所退社
- 昭和51年 双葉地方森林組合入社
- 平成12年 双葉地方森林組合定年退職
- 平成15年 農業委員に就任、現在2期目

### Q. 今後、富岡町の農業振興に必要なことはどんなことだと思いますか。

A. 今後の課題としては、「集団化=集約化」と「担い手の育成」が必須条件です。また一次産業を守らないと、自然形態を維持することが出来なくなってしまうので、この点に配慮する必要もあります。  
また、現在保全管理が行われていますが、今後もこの事業を何らかの形で継続できるように町民の皆さまの知恵を借りたいと思います。  
現状を直視して、町の復興とともに、無理のない農業振興ができればと思います。

## 議会を傍聴しませんか？

- 12月定例会は、13日(木)～14日(金)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。  
議会事務局 ☎0240-22-2111(代表)



9月14日、約400名の町民が参加した敬老会では、ダイヤモンド婚11組・金婚32組が表彰され、皆様の元気なお姿を拝見できて、大変嬉しく思いました。

町は特定復興再生拠点整備計画のもと、帰還困難区域でも新しい町づくりが始まろうとしています。しかし、帰還を希望される町民が少なく、なかなか復興の絵姿が描けない状況です。

このような時だからこそ、激動の昭和を生き抜いて高度成長の礎を築かれた人生の大先輩からの英知によるご指導が、富岡町復興の「鍵」になるのではと感じました。  
(安藤 正純)



平成30年度敬老会

- 議長 塚野芳美
- 発行責任者
- 議会報編集特別委員会
- 委員長 堀本典明
- 副委員長 渡辺高一
- 委員 渡辺正道
- 委員 高野匠美
- 委員 遠藤一善
- 委員 安藤正純

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町議会公式ホームページ



富岡町議会

で 検索